

**必要経費の目安**

ご旅行代金 788,000 円の他に別途下記の料金がかかります。  
※詳細は、参加予約票を受領後、弊社よりお送りする正式申込書及び渡航手続き書類にてご案内申し上げます。

◆空港施設使用料 / 国際観光税 / 海外空港税・燃油特別付加運賃（航空会社により79,072円～112,000円）が別途かかります、左記は、2024年7月現在のもので、航空券の発券レートにより変動します。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。

◆渡航手続諸費用（パスポートを新規取得、更新の方）：パスポート新規申請代（5年用 11,000円 / 10年用 16,000円 / 各自治体の戸籍謄本・住民票発行手数料や写真代別途要）このご旅行には2024年8月17日以降のパスポート有効期限が必要です。（+2週間以上の有効期限が望ましい）

◆お一人部屋追加料金：98,000円（ホテルは基本2名一室です）※お一人参加で相部屋をご希望の場合、最終的な部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することがございます。予めご了承くださいませ。

- ◆任意の海外旅行保険
- ◆超過手荷物料金：規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
- ◆個人的費用：旅程表に明記されていないものの費用（食事代、飲み物代・自由行動時の諸費用等）
- ◆ご自宅～発着空港までの交通費

■時間帯の目安  
およそ以下の通りです。航空機・バスなどの移動の発着時刻をもとにした目安です。実際の時刻とは異なる場合がありますので、予めご了承ください。

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
4:00	6:00	8:00	12:00	17:00	19:00	23:00
						4:00

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第84号 JATA正会員



株式会社 **富士国際旅行社**

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7ヒューリック  
みなとみらい11F-4 総合旅行業務取扱管理者：西須輝理

受託販売 岐阜県知事登録旅行業第3-196号 ANTA正会員

有限会社 **旅ステーション**

〒504-0825 岐阜県各務原市蘇原柿沢町2-47  
TEL 0120-926-733 FAX 058-389-6792  
総合旅行業務取扱管理者：椋木昭夫

**お申込方法**

- ①【紙で仮予約の場合】下記の予約票にご記入いただき、旅ステーション宛に郵送またはFAXでお送りください。予約票が届き次第、旅行社より取引条件説明書面とお申込書を他の必要書類とともにお送りいたします。
- ②【ウェブで仮予約の場合】下記QRコードにアクセスし、仮予約フォームを送信下さい。
- ③弊社よりお送りするご案内書面に記載の銀行またはゆうちょ銀行に、**申込金50,000円**（旅行代金内金）をご送金ください。（申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込）
- ④ツアー実施確定後、弊社よりご連絡いたします。 ⑤出発2週間前に説明会を行います。

..... き・り・と・り .....

旅ステーション宛

**参加予約票** スペイン ゲルニカ 平和と美術の旅 **2024年11月19日（火）出発**

パスポート ローマ字表記	性別	生年月日	年 月 日生れ ( )才	ウェブ仮予約はこちらから↓
氏名	男・女	パスポート	有効旅券（パスポート）【有・無】 パスポート番号： 有効期限： 年 月 日	
住所	(〒 - )			
連絡先	【tel】 ( ) - ( ) - ( ) 【携帯】 - - 【e-mail】			

**ご旅行条件**

旅行条件の詳細は「旅行業約款」（募集型企画旅行契約）にあります。この旅行は2024年1月1日現在を基準としています。

■旅行契約の解除  
参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。ご出発の2か月前迄にお知らせします。

<取消料>  
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。

契約の解除期日	取消料
旅行開始日前日から起算して遡って30日前以降	旅行費用の20%
旅行開始日前々日以降	旅行費用の50%
旅行開始後の解除、無連絡不参加	旅行費用の100%

**ご旅行要項**

- 旅行代金に含まれるもの（一部例示）
  - ・ロンドン往復エコノミークラス航空券
  - ・ホテル料金：2人部屋基準、税、サービス料含む
  - ・食事代：（旅程表に表記のもの）
  - ・専用車・ガイド代
  - ・旅程表に明示した市内（郊外）見学の入場料
  - ・添乗員同行費用
- 旅行代金に含まれないもの
  - ・旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊費、飲食費等
  - ・渡航手続費用：旅券印紙代（5年用11,000円/10年用16,000円）
  - ・超過手荷物料金：規定の重量、大きさ、個数を超える分
  - ・個人的諸費用：電話、Fax、クリーニング代、追加飲食費用、自由行動時の諸費用等
  - ・お一人部屋追加料金：85,000円
  - ・空港施設使用料および保安料
  - ・日本国内の交通費、前泊の費用
  - ・海外旅行傷害保険代
  - ・燃油付加運賃、航空保険料、訪問国入国税



**ヨーロッパ鉄道の旅シリーズ Vol.2**

**スペイン ゲルニカ 平和と美術の旅**

**2024年** 5泊8日  
**旅行期間** 11月19日(火)～26日(火)  
**定員** 15名様 **最少催行人員** 10名様  
**旅行代金** 788,000円

ゲルニカ平和博物館の屋外展示(上)と吹き抜けの展示(右)

空港使用料/国際観光税/海外空港資料料・燃油付加運賃（航空会社により79,072円～92,290円）が別途かかります。左記は、2024年7月現在のもので、航空券の発券レートにより変動します。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。



アントニガウディーのサグラダファミリア大聖堂

- ◇ バルセロナのカタルーニャ歴史博物館でスペイン内戦の歴史を学び、無差別爆撃で壊滅的打撃を受けたゲルニカの町のゲルニカ平和博物館を訪問します。
- ◇ ピカソの「ゲルニカ」があるマドリッドのソフィア王妃芸術センターのみならずプラド美術館、ビルバオのグッゲンハイム美術館、バルセロナのピカソ美術館など世界的4つの美術館はじめ、ガウディーのサグラダファミリアやトレドの町などスペインが誇る世界遺産も見学します。

# Train tour

## ユーレイルパスを使って鉄道旅行

ユーレイルパスとは、ヨーロッパ33か国の鉄道に乗り放題となる鉄道パスです。都市の中心から中心まで短時間で、車窓の風景や食事を楽しみながら移動できる鉄道は、ヨーロッパで最も旅行に適した交通手段です。今回の旅行では、添乗員・ガイド同行のパッケージツアーとして、募集をいたしますが、時間に余裕のある方は、最終日にマドリッドで離団して、ユーレイルスペインパスを使って、スペイン鉄道旅行やユーレイルパスを使って、フランス、イギリス、スイス、イタリアなど、ヨーロッパを自由旅行してお好きな日に帰国することも可能です。希望者には、ホテルや列車予約、現地参加のツアーの手配もお引き受けします。



# Sight Seeing

## ●パブロピカソ「ゲルニカ」の物語

スペイン内戦の最中の1937年4月26日、フランコの反乱軍を支援するドイツ・ナチスは、人民戦線の拠点のあるバスク地方のゲルニカを爆撃しました。当時、空爆の対象は軍事基地に限られていたが、ナチスドイツは、世界で始めて、市民を対象とした無差別爆撃を行いました。すでにスペイン人画家としてパリで有名になっていたパブロピカソは、スペイン人民戦線政府の依頼で、パリ万博のスペイン館の入り口ホールを飾る依頼を受けていましたが、ゲルニカの爆撃を知り、フランコやナチスドイツなどファシスの蛮行を世界に告発する目的で、この「ゲルニカ」の絵をわずか1か月で書き上げ、1937年7月12日、パリ万博で公開しました。万博終了後も、スペインの人民戦線への救援活動の一環として、イギリスやノルウェーなどで巡回展が開かれ、アメリカに渡ります。その後、内戦に勝利したフランコの反乱軍は、自ら国家元首となって独裁体制をしき、共和派への弾圧おこないました。フランコが死去して、再び自由選挙が実施された1977年までこの独裁政治はつづきました。フランコ政権は、ニューヨーク近代美術館にある「ゲルニカ」の返還を要求しましたが、ピカソは、フランコによる独裁政治が終結し、「スペインの人々が再び自由を手にするまで、ゲルニカはスペインに返さない」と返還を拒否します。ピカソは、1972年に死去しますが、フランコも1975年に死去し、スペインに民主主義が戻った1981年に、ピカソが館長をすることになっていたブラド美術館に返還されます。右翼からの破壊工作から守るため、防弾ガラスに囲まれて別館に展示されていましたが、10年後には、新しく開館した、ソフィア王妃芸術センターに移されて現在に至っています。



陶板によるゲルニカのレプリカ

## ●ビスカヤ県議会議事堂 ●ゲルニカ平和博物館

### ●ビスカヤ県議会議事堂

何世紀もの間、ビスカヤ人の伝統的な議会は「ゲルニカのオークの木」の下で開かれてきました。バスク人にとってこの木は自由の象徴であり、オークの木は代々植え替えられてきました。木のそばには集会場が建てられ、1826年に建てられた現在の議会議場と兼用されています。ですから、ビスカヤ県政府は大都市のビルバオにありますが、ビスカヤ県議会は、ここゲルニカにあるのです。



ビスカヤ県議会議事堂



ゲルニカのオークの木



ゲルニカ平和博物館の展示

ゲルニカ平和博物館は、1937年4月26日のゲルニカ爆撃の悲劇から着想を得た、平和文化をテーマにした博物館です。博物館は、品物、画像、視聴覚セクション、文書メッセージを巡りながら、様々な考えが生まれるようになっています。博物館は、人類が長い間討論してきた論争に答えを出すことはできません。しかしながら見学者が、自ら答えを出すべき質問を生み出すための思考に火をつける導火線になることはできます。博物館は三つの大きな質問に沿って配列されています。①平和とは... ②ゲルニカ爆撃が私たちに残したものは... ③世界平和の現状は... (博物館のホームページより)

## ビルバオ

### ●グッゲンハイム美術館

ビルバオのグッゲンハイム美術館はニューヨークにあるグッゲンハイム美術館の分館として1997年に開館しました。建築家フランクゲーリーのユニークな外観の設計で、リチャード・セラ、草間彌生やピカソなど、近現代の第一線の作家の作品がてんじられています。バスク自治政府は、ゲルニカをこの美術館に展示できるように要望していましたが実現しませんでした。



グッゲンハイム美術館



ソフィア王妃芸術センター

## マドリッド

### ●ソフィア王妃芸術センター

ピカソの「ゲルニカ」は現在、この美術館で見ることができます。ブラド美術館がベラスケス始め中世の絵画が展示の中心ですが、こちらは、ダリやミロなど近現代の絵画を鑑賞できます。

## 日程表

日次	月日(曜)	場所	食事
1日目	11月19日(火) 午後	成田空港または羽田空港 エティファド航空またはエミレーツ航空でバルセロナへ	機 機
<b>機中泊</b>			
2日目	11月20日(水) 午前または昼 午後	バルセロナ着 ◎サクラファミリア大聖堂 ◎スペイン内戦の跡地 ●カタルーニャ歴史博物館 ●ピカソ美術館 (終日専用車・日本語ガイド同行)	機 L D
<b>Barceló Sants</b>			
3日目	11月21日(木) 終日	バルセロナからビルバオ列車の旅(1等)	B L D
<b>NYX Hotel Bilbao by Leonardo Hotels</b>			
4日目	11月22日(金) 午前 午後	ビルバオ～ゲルニカ列車で移動 ●マーケット ●ゲルニカ平和博物館 専門ガイド同行(日本語通訳) ●防空壕 ●バスク議事堂 ◎ゲルニカの陶板壁画 ゲルニカは徒歩にて観光 ゲルニカ～ビルバオ列車で移動	B L D
<b>NYX Hotel Bilbao by Leonardo Hotels</b>			
5日目	11月23日(土) 午前 午後	●グッゲンハイム美術館 ◎ビスカヤ橋 日本語観光ガイド同行 ビルバオ～ザラゴザ～マドリッド列車の旅(1等)	B L D
<b>Ibis Budget Madrid Centro Lavapies</b>			
6日目	11月24日(日) 午前 午後	●ソフィア王妃芸術センター ●ブラド美術館 トレド半日観光(サントメ教会、トレド大聖堂) 終日専用車日本語ガイド同行	B L D
<b>Ibis Budget Madrid Centro Lavapies</b>			
7日目	11月25日(月) 午前	バラハス空港 エティファド航空またはエミレーツ航空で東京へ	B L 機
<b>機中泊</b>			
8日目	11月26日(火) 午前	成田または羽田空港着 解散	機

利用予定ホテル: <バルセロナ>Barceló Sants <ビルバオ>NYX Hotel Bilbao by Leonardo Hotels

<マドリッド>Ibis Budget Madrid Centro Lavapies

● 入場見学 ◎ 外観見学 B 朝食 L 昼食 D 夕食 機 機内食

## バルセロナ

### ●ピカソ美術館

マラガに生まれたピカソは、ラコルーニャの美術学校を経て14歳のときここバルセロナの美術学校に入学し、以後、20才でパリに移り住むまでの大部分をここバルセロナで過ごしました。この美術間は、82歳になったピカソ本人の希望で1967年に開館し、初期の学生時代の作品から青の時代の作品まで、主に、ここバルセロナで制作された5000点余の作品を収蔵しています。



サグラダファミリア大聖堂

### ●スペイン内戦の跡地とカタルーニャ歴史博物館

1936年1月のスペイン総選挙で、協和派、社会主義者、共産党からなる人民戦線派が勝利した直後に、フランコ將軍が各地の軍隊にクーデターを呼びかけ、内戦が勃発しました。人民戦線の拠点があったバルセロナには、今も内戦の戦跡が残り、カタルーニャ歴史博物館に、当時の展示説明があります。内戦は、フランコ率いるファシストの勝利で終わり、スペインに民主主義がもどるのは、フランコ死後、再び総選挙が行われた1977年のことです。